



ただよしろの市議会通信 No. 33

ただよしろ事務所
宇陀市榛原下井足1047
TEL: 0745-82-5855
FAX: 0745-82-7876
Mail: ma33hk23ml@kcn.jp

ごあいさつ

やや三寒四温の残る花冷えの今日この頃ですが、宇陀市内にも漸く春が訪れています。季節はめぐり、長かった真冬の寒さが今では懐かしく思い出されます。春を告げる母のような豊かな自然の懐で、

す。高齢化と担い手不足にTP P参加と、見え難い農業の将来ですが、祖先から預かりし田畑を守り抜く皆様の気合を感じる季節です。毎年、繰り返されるこの山里の風景に平凡で平穏な暮しへの感謝を覚えます。私達

予防としてのマスクはもはや日常生活の必需品となつてしまいました。さて、3月定例会が無事に終了し、当初予算案が一部修正の後に可決されました。また、31日付で人事異動が発令され、前野副市長・喜多教育長をはじめ24人の幹部職員が退職、新任の

県の予算も決まっています。国政では当初予算の審議が行われています。安倍内閣の再登板3カ月で株価は上昇、為替相場は円高から円安へ転じ、アベノミクスと持て囃す報道がめだつています。景気は回復基調にあると言われていますが、日銀の大胆な量的緩和策の効果が気にかかるところです。この経済再生に加え、TPP、領土問題、沖縄米軍基地問題、東南海地震対策など、大きな課題が山積しています。「日本を取戻す」政治は結果」と断言される強硬な政治力に期待するとともに、その国の統治下に都道府県、区市町村があるのですから、我々の宇陀市政もまさに「連托生」。生活に一番近い

ダイナミックに動き始めた国政を注視しつつ地域の生活の場から皆様の声の発信を

生命の息吹が躍動し始めています。皆様も、肩の凝りがほぐれるようなゆつたりとした気分でお過ごしのことと存じます。この時期、5月の連休時分から競争のように始まる田植えに向けた準備の、初まきや荒起しの風景がよく見られます。

も屈んでいた背筋をピシッと伸ばして深呼吸をし、花々や鳥や虫達のように太陽に向って活発に動き始めなければなりません。とはいうものの昨今の天気は、放射能や黄砂やPM2.5や花粉や埃などで、薄黄土色に汚れているようです。特に、子供達の健康への影響が心配されます。

副市長には前総務部長の井上裕博氏、教育長には石増次郎氏が就任し、8部長(危機管理監を含む)が新任となりました。合併後、8年目を迎え、宇陀市の末広がり発展のためにフレッシュな志で邁進して頂きたいものと大いに期待しています。先述の市の当初予算も決まり、

地方の視点から、安倍内閣の挑戦を見守るとともに、その効果がこの国の隅々まで及ぶよう、地方の声を発信し続けていかなければならないと思つていきます。

3月議会

どう取り組む？奈良県東部振興計画 計画は出揃った、次は具体的な着手を



具現化に向けた年次的な実施計画はどうかのかなどを尋ねました。さらに、宇陀市まちづくり計画のバイブル「市総合計画」や新しく設置される「大和高原観光振興協議会」との整合性についても尋ね、県・地域・市それぞれのレベルからの積極的・具体的な取り組みの相乗効果で、地域活性化をめざすことの必要性を訴えました。

ブログ・ツイッター・フェイスブックで、皆様とダイレクトにつながっています。

ただよしろにアクセス!!
★ブログ <http://sasurai-bito.seesaa.net/>
★ツイッター <http://twitter.com/hikaridama>
★フェイスブック <https://ja-jp.facebook.com/YoshirouTada>

3月議会的一般質問では、私は昨年10月に策定された「奈良県東部振興計画」を取り上げて質問を行いました。実は宇陀市は一昨年の4月に策定された「奈良県南部振興計画」にも含まれることになっていて、その後策定された「東部計画」との兼ね合いが、少し分かりにくくなっています。そこで、計画策定の経緯から南部・東部計画が今や一体のものであることを確認したうえで、どのように具体的に取り組んでいくのか、奈良県との組織的な連携や支援・サポートはどうなっているのか、また、

宇陀市掲示板

- 機構改革—市立病院内に経営企画部を設置、まちづくり支援課に産業振興推進室を設置、建設部営繕課を公営住宅課に変更。
- 「桜井・宇陀ふらり」観光周遊アプリがアップ。
- 4/21 佛隆寺千年桜の花見会
- 4/27 AM10:00 宇陀市立病院竣工記念式典(文化会館)
- 4/28 旧伊那佐郵便局再生開局
- 4/28 AM10:00 ワールドメープルパーク開園式
- 5/3 AM11:00 高城岳まつり(山頂)
- 5/3~5/6 弁財天石楠花まつり
- 5/10 市民スポーツ大会(グランドゴルフ/総合運動場)
- 5/12 AM10:00 鳥見山つつじまつり
- 5/21 市中央公民館 16 講座の受講申込み締切日
- 5/25 PM13:00 宇陀市民フォーラム(住まいの耐震化のススメ/4F 大会議室)
- 6/15 PM5:00 あきの虫能
- 6/30 宇陀市体協ウォーキング(詳細は未定)
- 7/28 PM4:30 ~室生へまあ~より祭(室生運動場)

●編集後記

▼「太平記」に登場する中世の武士団「宇陀三将」といえば秋山氏、芳野氏と澤氏。その澤氏の居城・澤城は、後にキリシタン大名高山右近が入城したことでも有名ですが、先日、澤氏の子孫の方と城跡、伊那佐山に登りました。道中、猿岩展望台を経ると頂上には都賀那岐神社が祀られています。社殿横には、「古事記」に由来する歌碑があり、内容は「連戦連勝の皇軍も腹が減つては戦が出来ぬ」といふ微笑ましいもの。山登りの後のすきつ腹にはまさに実感です。同行の澤氏が過日石上神社に参拝したら、一陣の風がそよと吹いたそうで、祖先が喜んだのだらうなどと、若宮八幡宮の岡野宮司とともに盛り上がりました。実は三将の一氏、秋山氏の子孫も私の友人の知人。残る芳野氏を探し出して「宇陀三将サミット」ができないものだろうか、などと考えているこの頃です。芳野氏についてご存じの向きがあれば、ぜひ一報ください。